

プログラム
一般口頭発表

29th October

ヒマワリ 9:00-10:15

Genomics and evolution (ゲノム科学・進化)

- 9:00 海洋由来Lactiplantibacillus plantarum菌株のパンゲノム解析
齋藤 禎一(1)、後藤 康丞(1)、島貫 郁(1)、峯田 克彦(1)(2)、五條堀 孝(1)(3)(4)
(1) 一般財団法人マリンオープンイノベーション(MaOI)機構、(2)早稲田大学、(3)アブドラ国王科学技術大学院大学、(4)国立成功大学
- 9:15 古代 DNA 解析による雪氷藻類(ラフィドネマ 属)のコスモポリタン型からエンデミック型への微小進化
*瀬川 高弘(1)、松崎 令(2)、米澤 隆弘(3)、竹内 望(4)
(1) 山梨大 総合分析実験センター、(2)大阪工大 工学部、(3) 広島大 院統合生命科学、(4) 千葉大 院理
- 9:30 深海微生物叢情報から発見した新規糖質分解酵素群の機能的多様性の解明
*澄田 智美(1)、平岡 聡史(1)、臼井 けい子(1)、出口 茂(1)、伏信 進矢(2)、布浦 拓郎(1)
(1) 海洋研究開発機構、(2) 東大院・農生科
- 9:45 バクテリアと光合成の共進化
西原 亜理沙(1)、*塚谷 祐介(2)、浅井 智広(3)、延 優(4)
(1) 産総研・生物プロセス、(2) 海洋研究開発機構・海洋機能利用部門、(3) 中央大・理工学部、(4) 海洋研究開発機構・超先鋭研究開発部門
- 10:00 可動性ベータラクタマーゼ遺伝子blaGMA-1が付与する性質とその周辺構造
矢野 大和 (1)、鈴木 仁人 (1)、野中 里左 (2)
(1) 感染研 (2) 尚綱大

ヒマワリ 10:30-11:45

Aquatic ecosystems (水圏生態系) 1

- 10:30 細胞外rRNAを指標とした海洋プランクトン死滅溶解の網羅的推定
*遠藤 寿(1)、緒方 博之(1)
(1) 京都大・化研
- 10:45 ウイルス感染に起因するHeterosigma akashiwo由来の溶存RNAの網羅的解析
*菊矢 咲季(1)、長崎 慶三(2)、森本 大地(2)、緒方 博之(1)、遠藤 寿(1)
(1) 京都大・化研、(2) 高知大・理工
- 11:00 藍藻Synechocystis sp. PCC6803の生産する新規硫酸多糖Synechanの構造解析
*巻口 桜子(1)、大館 和真(2)、前田 海成(3)、渡辺 智(2)、浦井 誠(1)
(1) 東京農大院・分子生命化学、(2) 東京農大院・バイオ、(3) 東京工大・化学生命科学研究所
- 11:15 海洋Roseobacteraceae細菌間で共有される新規のPAH生分解遺伝子クラスター
*守 次朗(1)、安部 真由子(1)、Robert A. Kanaly(1)
(1) 横浜市大・院生命ナノ
- 11:30 海洋細菌が備えるロドプシンのイオン輸送加速色素
*藤原 敬允(1)(2)、保坂 俊彰(3)、長谷川 万純(4)、西村 陽介(5)、森 香穂(1)(2)、富永 賢人(2)、西野 聡(1)(2)、高橋 優乃(1)(2)、高市 真一(6)、井上 圭一(2)(7)、白水 美香子(3)、吉澤晋(1)(2)
(1) 東大・大海研、(2) 東大・院新領域、(3) 理化学研究所・BDR、(4) 海洋開発研究機構・X-Star、(5) 海洋開発研究機構・生命理工学センター、(6) 東京農大・生命科学部、(7) 東大・物性研

29th October

コスモス2 9:00-10:15

Human and built environment (ヒトおよび人工環境系)

- 9:00 代表的な4種の皮膚常在細菌を用いた複合培養系の構築
*山元 郁弥(1)、倉持 幸司(1)、古山 祐貴(1)
(1) 東理大・創域理工・生命生物学
- 9:15 ロングリードシーケンサーを用いたヒト皮膚微生物叢の詳細解析
*黒川 李奈(1)、増岡 弘晃(1)、須田 亙(1)
(1) 理研・IMS
- 9:30 高機能コンクリート開発に寄与する強アルカリ耐性菌の単離
*中村 孝道(1)、林 俊斉(1)、齋藤 淳(1)、西田 孝弘(2)、河合 慶有(3)、小池 賢太郎(4)
(1) 安藤ハザマ・技研, (2) 静岡理工科大・理工学部, (3) 愛媛大・工学部, (4) 港湾空港技研・構造研究領域
- 9:45 都市化が微生物生態系に与える影響
佐藤 由也(1)、高根 雄也(1)、吉岡 真弓(2)
(1) 産総研・環境創生, (2) 産総研・地圏資源環境
- 10:00 Insights of indoor microbiome assembly processes and key drivers in residential environment
殷悦(1)(4)、中嶋麻起子(1)(4)、侯健健(2)(4)、立石能子(2)(4)、藤吉奏(2)(4)、小椋大輔(3)(4)、丸山史人(2)(4)
(1) 広島工業大学工学部建築工学科, (2) 広島大学IDEC国際連携機構, (3) 京都大学大学院工学研究科, (4) 広島大学未来共生建造環境センター (CHOBE)

コスモス2 10:30-11:45

Plant-microbe symbiosis and interactions, plant pathology (植物-微生物間の共生、相互作用、病理)

- 10:30 Identification, Characterization, and Growth-Promoting Effects of Bacterial Endophytes Isolated from Okra (*Abelmoschus esculentus* L.)
* Ahsanul Salehin (1), Sakiko Yamane (2), Makoto Ueno (2), Shohei Hayashi (2)
(1) Nagoya University, (2) Shimane University
- 10:45 土壌微生物由来の代謝物による生長抑制に対する、根分泌物を介した植物生存戦略
*村田 純(1)、渡辺健宏(2)、豊永宏美(1)、延原美香(1)、森祥子(3)、堀川学(3)
(1) サントリー生命科学財団 統合生体分子機能研究部, (2) サントリー生命科学財団 研究企画部, (3) サントリー生命科学財団 構造生命科学研究部
- 11:00 根粒形成における根粒菌HrcAリプレッサータンパク質の機能解明
佐々木 茉央(1)、千葉悠平(2)、林桃子(3)、*川原田泰之(1)(2)(3)
(1) 岩手大・総合科学, (2) 岩手大・連合農学, (3) 岩手大・農学
- 11:15 カブロン酸の *Verticillium dahliae* に対する抑制効果の検討
*三井 彩花(1)、宇佐見 俊行(2)、天知 誠吾(2)
(1) 千葉大・園芸, (2) 千葉大院・園芸
- 11:30 外来植物由来の二次代謝産物による根圏土壌微生物群集組成の変化
*中村 直人(1)、杉山 暁史(1)
(1) 京都大学・生存研

29th October

ラン1 9:00-10:15

Biotechnology and molecular microbiology
(バイオテクノロジー・分子微生物学)

- 9:00 血清成分吸着表面に対する非生物学的モデルによる微生物付着予測
*星 京吾(1)、梅津 将喜(1)、上高原 理暢(1)
(1) 東北大院・環境
- 9:15 *Apilactobacillus kunkeei* の in silico 解析による菌種分類方法の評価
*前野 慎太郎
山口大・研究推進機構
- 9:30 抗菌剤代替としての有孢子性乳酸菌 *Heyndrickxia coagulans* SANK70258 の可能性とそのメカニズムの検証
*相田 正典(1)、山田 良一(1)、松尾 俊輝(1)、塚原 隆充(2)
(1) 三菱ケミカル、(2) 栄養・病理学研究所
- 9:45 ウイルス型ローダーの網羅的探索から探るDNAヘリケースローダー置換の駆動要因
*富永 賢人(1)、大前 公保(2)、岩崎 渉(1)、西村 祐貴(1)
(1) 東大院・新領域、(2) 理研・開拓研究本部
- 10:00 担体への迅速な微生物固定を可能とする電気泳動堆積法の検討
*鈴木 溪太(1)、梅津 将喜(1)、上高原 理暢(1)
(1) 東北大院・環境科学

ラン1 10:30-11:45

Material cycling and degradation
(物質循環および生分解)

- 10:30 *Spirochaetota*門細菌によるPET関連物質の嫌気性分解
*黒田 恭平(1)(2)、宇都 大和(3)、中屋 佑紀(2)、佐藤 久(2)、熊木 康裕(4)、相沢 智康(5)、成廣 隆(1)(2)、野口太郎(3)
(1) 産業技術総合研究所・生物プロセス研究部門、(2) 北海道大学・大学院工学研究院、(3) 都城工業高等専門学校・物質工学科、(4) 北海道大学・大学院理学研究院、(5) 北海道大学・大学院先端生命科学研究院
- 10:45 生分解性プラスチックのpH環境下における生分解性の検討
森本 一(1)(2)、西山 すの(1)
(1) 株式会社komham、(2) 立命館大
- 11:00 鉛汚染下が脱窒に与える影響：無機態窒素源と脱窒関連遺伝子の定量、及び16S rRNA解析による微生物群集構造の研究
長田 彬(1)、内田 義崇(2)
(1) 北大院・国際食資源学院、(2) 北大・農学研究院
- 11:15 *Alcaligenes faecalis* をモデルとした従属栄養硝化の分子機構の解明
*藤原 健智(1)、辻野 修平(1)(2)
(1) 静岡大・理・生物科学、(2) 北海道大・医学研究院
- 11:30 新考案のリン定量系によって見えてきた海洋細菌 *Phaeobacter* sp. による酸化型・還元型リンの選択利用について
*黒澤 悠輝(1)、松本 涼風(2)、浦田 真平(2)、足立 真佐雄(2)、山口 晴生(2)
(1) 愛媛大院・連農、(2) 高知大・農海

29th October

ラン2 9:00-10:15

**Microbe-microbe symbiosis and interactions
(微生物間の共生・相互作用)**

- 9:00 芽胞形成Bacillus属細菌におけるアシル化ホモセリンラクトン分解活性の多様性と分布
*諸星 知広(1)、新井 和花(1)、上野 栞菜(1)、染谷 信孝(2)
(1) 宇都宮大院・地域創生、(2) 農研機構・植防研
- 9:15 藍藻の細胞巨大化による捕食耐性の獲得とその微生物生態学的意義
*戸田 成美(1)、渡辺智(2)、黒田 章夫(1)、廣田 隆一(1)
(1) 広島大院・統合生命、(2) 東農大・バイオサイエンス
- 9:30 Pseudomonas aeruginosa を誘引するBacillus sp. NB4 株の代謝産物の解析
*大村 龍太郎(1)、相澤 朋子(2)、浦井 誠(1)
(1) 東京農大院・分子生命化学、(2) 日本大学・生物資源
- 9:45 海獣に共生する新規Ureaplasma属細菌の比較ゲノム解析
*中島 悠(1)、瀬川 太雄(2)
(1) 海洋研究開発機構・海洋機能利用、(2) 日大・生物資源
- 10:00 亜リン酸利用時の細菌間相互作用
*譽田 惇(1)、Dana Ulanova(1)
(1) 高知大院・農林海洋

ラン2 10:30-11:45

**Environment and bioremediation
(環境影響評価および環境浄化)**

- 10:30 牛メタン削減に向けたルーメン微生物群集の解析
*橋見 一生(1)、時田 恵一郎(1)、脇田 知成(1)、山田 貴大(1)、澤戸 利衣(2)、瀧澤 修平(2)
(1) 名古屋大学 大学院 情報学研究科、(2) 農研機構 畜産研究部門 乳牛精密管理研究領域
- 10:45 海底堆積物から分離された原油凝集能を有する新種の偏性嫌気性細菌
*加藤 莉里香(1)、平野 栞(1)、森 浩二(2)、浜田 盛之(2)、三浦 隆匡(2)、松本 良(3)、林 雅浩(4)、小林 武志(1)
(1) 東京海洋大学大学院、(2) 製品評価技術基盤機構、(3) 明治大学、(4) ENEOS株式会社
- 11:00 白紋羽病菌の菌糸圏土壌微生物群集への培養基質の影響
*勝山 千恵(1)、Nguyen Thi Thanh Huong(1)、久我 ゆかり(1)
(1) 広島大院・統合生命
- 11:15 天北炭田における原位置褐炭層への過酸化水素水注入試験と微生物群集構造の変化
*上野 晃生(1)、佐藤 聖(1)、玉村 修司(1)、村上 拓馬(1)、猪股 英紀(1)、玉澤 聡(1)、青山 秀夫(2)、永井 甲矢雄(2)、田所 篤太郎(2)、三上 一成(2)、長沼 毅(3)、五十嵐 敏文(1,4)
(1) 幌延地圏環境研究所、(2) UBE三菱セメント株式会社、(3) 広島大院統合生命科学研究所、(4) 旭川高専
- 11:30 深部天然ガス田由来の微生物培養系による嫌氣的リグニン分解の可能性
*持丸 華子(1)、大塚 祐一郎(2)、青柳 智(3)、堀 知行(3)、井上 一大(4)、佐々木 拓郎(4)、吉岡 秀佳(1)
(1) 産総研 地圏資源、(2) 森林総研 森林資源化学 (3) 産総研 環境創生、(4) 三菱ガス化学 グリーン・エネルギー&ケミカル

30th October

ヒマワリ 9:00-10:15

Extreme environments (極限環境)

- 9:00 深海岩石試料由来微生物によるステンレス鋼腐食
*若井 暁(1)(2)、小林 香苗(1)、小川 真弘(1)、野崎 達生(3)(4)(5)
(1) 海洋研・超先鋭、(2) JST・さきがけ、(3) 海洋研・海洋機能、(4) 東大・院工ネ資セ、(5) 神戸大・院理
- 9:15 付加体の深部帯水層に生息するメタン生成菌の生態特性を決定する環境要因
*清水 真之介(1)、高橋 輝希(1)、木村 浩之(1)(2)
(1) 静岡大・院理、(2) 静岡大・グリーン研
- 9:30 Diversity and distribution of cellulose and related compounds in thermophilic microbial communities in Nakabusa hot springs
*Katsumi Matsuura (1)(2), Minako Nishina (3), Shigeru Kawai(4), Shawn McGlynn (2), Satomi Tagawa(5)
(1) Inst. Early Metabolic Evolution, (2) ELSI, Tokyo Tech., (3) Matsuyama High School, (4) Applied Chem. Life Sci., Toyohashi Univ. Tech., (5) Fac. Eng., Univ. Miyazaki
- 9:45 熱水活動域チムニーに生息する微生物の固体培養：明神海丘の場合
*武藤 久(1)、中川 聡(1,2,3)、高井 研(1,2)
(1)自然科学研究機構・生命創成探究センター、(2)海洋研究開発機構・超先鋭研究開発部門、(3)京都大院・農
- 10:00 岩石内地下水圏環境に生命は存続可能か？世界最古の地下水圏環境における微生物学的解析
*鈴木 志野(1)(2)(3)、星野 辰彦(2)、Oliver Warr(4)、石井 俊一(2)、稲垣 史生(2)、Barbara Sherwood Lollar(6)
(1) 理研、(2) 海洋研究開発機構、(3) 宇宙航空研究開発機構、(4) オタワ大学、(5) トロント大学

Methodology, informatics and theory
(手法・インフォマティクス・理論)

- 10:30 非常に弱い光で実現する共焦点ライブセルイメージング
*岡野 千草(1)、佐野 千佳歩(2)、堀江 千紘(2)、衛藤 雄二郎(3)(4)、高久 洋暁(5)、丹羽 一樹(6)、福田 大治(4)(6)、野村 暢彦(1)(7)、八幡 穰(1)(7)
(1) 筑波大・生命環境系、(2) 筑波大院・生命地球科学研究群、(3) 京大院・工、(4) 産総研・東大オペランド計測OIL、(5) 新潟薬大・応生命、(6) 産総研、(7) 筑波大・微生物サステイナビリティ研究センター
- 10:45 High-throughput microbial identification and high-resolution microbiome profiling by full-length 16S rRNA gene sequencing and nanoID pipeline
Dieter Turlousse (1), Yuji Sekiguchi (1)
(1) Biomedical Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST), Japan
- 11:00 Tag-free自家蛍光シグネチャー分析によるVBNC状態のin situ可視化
*塩原 旺(1)、Zhang Yiyun(1)、野村暢彦(2)(3)、岡野千草(2)、八幡穰(2)(3)
(1) 筑波大院・理工情報生命学術院、(2) 筑波大・生命環境系、(3) 筑波大・微生物サステイナビリティ研究センター
- 11:15 大規模ゲノムデータから共起・対偶遺伝子ペアを検出可能な新規系統プロファイリング法の開発
西村 祐貴(1)、大前 公保(2)、富永 賢人(1)
(1) 東大院・新領域、(2) 理研・CPR
- 11:30 ゲノム情報から予測した大規模タンパク質量情報と質量分析による広範囲な原核微生物の迅速同定
*関口 勇地(1)、寺本 華奈江(2)、Turlousse Dieter(1)、大橋 明子(1)、濱嶋 麻裕(1)、三浦 大典(1)、山田 賢志(2)、岩本 慎一(2)、田中 耕一(2)
(1) 産総研・バイオメディカル、(2) 島津製作所

30th October

コスモス2 9:00-10:15

Aquatic ecosystems (水圏生態系) 2

- 9:00 様々な時空間条件から検証する氷河シアノバクテリアの分布動態
*村上 匠(1)、瀬川 高弘(2)、大沼 友貴彦(3)、河合 繁(4)、広瀬 侑(4)、竹内 望(5)、本郷 裕一(1)
(1) 東科大・院生命、(2) 山梨大・総合分析実験センター、(3) JAXA・地球観測研究センター、(4) 豊橋技科大・院工、(5) 千葉大・院理
- 9:15 琵琶湖北湖底層における2017年から2023年のメタン循環変動要因の検討
*池谷 透(1)(5)、伊藤 雅之(2)、尾坂 兼一(3)、藤林 恵(4)、中野 伸一(5)
(1) 立命館大・理工、(2) 京都大・生存圏研、(3) 滋賀県大・環境科学、(4) 九州大・院工学、(5) 京都大・生態研
- 9:30 外来種ミズワタクチビルケイソウの季節消長と環境要因
*麦倉 佳奈(1)、Eldrin Arguelles(1)、佐藤 晋也(2)
(1) 福井県立大・院生物資源、(2) 福井県立大・海洋生物資源
- 9:45 黒潮続流域における海洋微生物群集の日周変動
*森 香穂(1)(2)、中島 悠(3)、長谷川 万純(4)、蔭 春啓(2)、横川 太一(4)、鋤柄 千穂(5)、川口 慎介(6)、吉澤 晋(1)(2)
(1) 東大院・新領域、(2) 東大・大海研、(3) 海洋研究開発機構・海洋機能利用部門、(4) 海洋研究開発機構・超先鋭研究開発部門、(5) 海洋研究開発機構・地球環境部門、(6) 海洋研究開発機構・SIP海洋統括プロジェクトチーム
- 10:00 時空間調査からマングローブ林堆積物の微生物多様性と炭素貯留能を探る
*長谷川 万純(1)、松井 洋平(2)、平井 美穂(1)、井上 香鈴(3)、高野 剛史(4)、中島 悠(5)、吉澤 晋(3)(6)、西村 陽介(5)
(1) 海洋研究開発機構・超先鋭研究開発部門、(2) 海洋研究開発機構・地球環境部門、(3) 東大・大気海洋研、(4) 目黒寄生虫館、(5) 海洋研究開発機構・生命理工学センター、(6) 東大・院新領域

Aquatic ecosystems (水圏生態系) 3

- 10:30 海水・海底砂泥反応系における生分解性プラスチックの生分解度のばらつきを生み出す因子の探索
*綿野 哲寛(1)(4)、山崎 創太(1)、神谷 貴文(1)、糸賀 公人(2)、植松 正吾(3)、梅澤 和寛(4)、谷 幸則(4)
(1) 静岡環衛研、(2) 八幡物産(株)、(3) 植松技術事務所、(4) 静岡県立大
- 10:45 アンモニア酸化アーキア*Nitrosopumilus zosterae* NM25の過酸化水素に対する遺伝子発現応答
*中川 達功(1)、土屋 雄揮(1)、高橋 令二(1)
(1) 日大・生資
- 11:00 大阪湾における異なる時系列動態を示す3種の海洋性一酸化炭素酸化菌の同定
*今浦 由就(1)、山本 圭吾(2)、神川 龍馬(1)、吉田 天士(1)
(1) 京都大院・農、(2) 大阪環農水研
- 11:15 メタバーコーディング解析を用いた福井県小浜湾における*Pseudo-nitzschia*時空間動態の解明
*中地 智里(1)、星野 丈翔(2)、佐藤 晋也(2)
(1) 福井県立大・院生物資源、(2) 福井県立大・海洋生物資源
- 11:30 マルチメタオミクス解析により解き明かす生分解性プラスチックの海洋生分解スキーム
*石井 俊一(1)、鹿島 裕之(1)、鈴木 美和(2)、粕谷 健一(2)(3)
(1) 海洋機構・超先鋭、(2) 群馬大・食センター、(3) 群馬大・理工

30th October

ラン1 9:00-10:15

Physiology, metabolism (生理・代謝)

- 9:00 ダイズ根圏における酸化イソフラボン代謝経路の発見
*島崎 智久(1)(2)、青木 愛賢(1)、矢崎 渉(1)、佐藤 友昭(1)、中安 大(1)、安藤 晃規(3)、岸野 重信(3)、小川 順(3)、増田 幸子(4)、柴田 ありさ(4)、白須 賢(4)、矢崎 一史(1)、杉山 暁史(1)
(1) 京都大・生存研、(2) 北大・院理、(3) 京大・農学研究科、(4) 理研・CSRS
- 9:15 *Bradyrhizobium ottawaense*が保有する2つのnap遺伝子クラスターの機能解析
鈴木 淳夫、*板倉 学、南澤 究
東北大院・生命
- 9:30 トンネル掘削ずりのセレン還元微生物集積培養系によるバイオオーグメンテーション
*青柳 智(1)、片田 直人(2)、菅沼 椋友(2)、森 喜彦(2)、花田 晶子(2)、黒川 大亮(2)、松山 祐介(2)、堀 知行(1)
(1) 産業技術総合研究所・環境創生研究部門、(2) 太平洋セメント 株式会社
- 9:45 環境中から単離された *Rhodococcus* sp. LC-2 株のルミクロム分解経路の同定
*塩田 大地(1)、土肥 裕希(1)(2)、高谷 直樹(1)(2)
(1) 筑波大・生命環境、(2) 筑波大・MiCS
- 10:00 Physiology of phototrophic iron oxidation linked to a highly novel Chloroflexota member
*Jackson M. Tsuji (1), Teruhiko Kashiwabara (2), Masaru K. Nobu (1), Tomohiro Watanabe (3), Manabu Fukui (3), Hiroyuki Imachi (1)
(1) X-star, JAMSTEC, (2) Res. Inst. for Marine Res. Utilization, JAMSTEC, (3) Inst. Low Temp. Sci., Hokkaido Univ.

ラン1 10:30-11:45

Ecology, symbiosis, and biogeochemical cycles (生態・共生・地球化学)

- 10:30 「オオホシカメムシ-パラバークホルデリア」モデル細胞内共生系
*竹下 和貴(1)、益子 海(1)、菊池 義智(2)
(1) 秋田県大・生物資源科学、(2) 産総研・生物プロセス
- 10:45 赤潮原因藻感染性ウイルスの比較ゲノム解析
*森本 大地(1)、船岳 祐作(2)、高橋 迪子(3)、長崎 慶三(1)(2)
(1) 高知大・理工、(2) 高知大・農林海洋、(3) 高知大・医学
- 11:00 揮発性有機化合物を産生する微生物の解析
金田 一秀
東京医療保健大学
- 11:15 市民科学で得られた大規模データセットによる N₂O削減微生物の推定
*大久保 智司(1)、青木 裕一(2)(3)、加藤 広海(1)、菊地 美穂(1)、番場 大(1)、佐藤 修正(1)、南澤 究(1)
(1) 東北大・院生命、(2) 東北大・ToMMO、(3) 東北大・院情報
- 11:30 乳酸菌 *Lactobacillus delbrueckii* が生産する 菌体外多糖の解析
グエンタムミン(1)、坂元 大吾(2)、菅原 誠(2)、田中 尚人(3)、浦井 誠(1)
(1) 東京農大院・分子生命化学、(2) マルサンアイ株式会社・開発統括部、(3) 東京農大院・分子微生物

30th October

ラン2 9:00-10:15

Virus (ウイルス) 1

- 9:00 パンドラウイルスにおける大きなゲノム断片の水平伝播
疋田弘之(1)、Ruixuan Zhang(1)、Jingjie Chen(1)、岡崎友輔(1)、緒方博之(1)
(1) 京都大・化研
- 9:15 メドゥーサウイルス属の新株の分離とその解析
*JIWAN BAE(1)、武村 政春(2)
(1) 東京理科大・理, (2) 東京理科大・院理
- 9:30 マモノウイルス科に近縁なVermamoeba感染性巨大ウイルスの分離
*羽鳥 成美(1)、Raymond Burton-Smith(2)、村田 和義(2)、武村 政春(1)
(1) 東京理科大・院理、(2) 自然科学研究機構・ExCELLS/NIPS
- 9:45 メドゥーサウイルスのゲノムパッケージング機構の解明
*土井 悠菜(1)、武村 政春(2)
(1) 東京理科大・創域理工、(2) 東京理科大・院理
- 10:00 ムームーウイルスが耐性アカントアメーバを誘発するメカニズムの解析
*武村 政春(1)、明石 基洋(2)、村田 和義(3)
(1) 東京理科大・院理、(2) 成蹊大・理工、(3) 自然科学研究機構・ExCELLS /NIPS

ラン2 10:30-11:45

Virus (ウイルス) 2

- 10:30 日本各地より単離されたHeterosigma akashiwoとHaVの交差感染性に関する研究
酒井 陽太(1)、森本 大地(2)、高橋 迪子(3)、船岳 祐作(1)、長崎 慶三(1,2)
(1) 高知大・農林海洋、(2) 高知大・理工、(3) 高知大・医学
- 10:45 パンドラウイルスPolBの インテイン分断から読み解く宿主多様性
*明石 基洋(1)、武村 政春(2)、鈴木 誠一(1)
(1) 成蹊大・理工、(2) 東京理科大・院理
- 11:00 珪藻の葉緑体に蓄積する新奇 環状一本鎖DNAウイルス
*外丸 裕司(1)、山田 和正(2)、本郷 悠貴(3)、島村 繁(4)、高尾 祥丈(2)、一見 和彦(5)
(1) 水産機構・技術研、(2) 福井県大・海洋生物資源、(3) 水産機構・資源研、(4) 海洋開発研究機構、(5) 香川大・農
- 11:15 遺伝子獲得による巨大ウイルスの深海適応可能性の探索
*長坂 孔明(1)、西村 陽介(2)、呉 君毅(1)、劉 文文(1)、遠藤 寿(1)、緒方 博之(1)
(1) 京都大・化研、(2) 海洋研究開発機構・生命理工学センター
- 11:30 Existence and activity of giant viruses in a mesopelagic environment
*Wenwen Liu (1), Komei Nagasaka (1), Russell Y. Neches (1), Yusuke Okazaki (1),
Hisashi Endo (1), Hiroyuki Ogata (1)
(1) Inst. Chem. Res., Kyoto Univ